



進路だより 第7号

ジャイロコンパス

宇都宮市立晃陽中学校

R4.7.11 発行

文責：秋場拓也

【一日体験や学校説明会、入試の引率・出欠席の扱いについて】

一日体験学習や説明会、入試等については、個人での参加となります。したがって、教職員による引率は（出欠確認のみ行う場合もありますが）基本的には行いません。交通安全に十分気を付けてご参加ください。また、夏季休業後には、私立高校の説明会や体験学習が平日に行われることがあります。そのような場合の出欠席につきましては、欠席とならず、「出席停止等」の扱いとなります。これは入試についても同様となりますのでご承知おきください。

【県外の高校を受験する場合について】

県外高校の受験を検討している場合は、夏季休業中から秋にかけて説明会が開催されます。栃木県と手続きの方法が違う場合がほとんどですので、必ず参加してください。また、説明会に参加される際は、ご家庭用とは別に学校用の要項も1部もらっておいていただけると助かります。なお、各都道府県によって、試験問題の難易度も違いますので、模擬試験等により得点の目安を把握しておくこともお勧めします。

【通信制・サポート校の一日体験、学校説明会について】

広域通信制およびサポート校の体験入学・説明会等についても、各高校のHP等から申込できます。学校または個人での申し込みができます。

【県立高校の「選抜方法」並びに「募集する生徒像」について】

栃木県 HP 内の、県立高校入試に関する情報が随時公開されるページがあります。そこにある「入学者選抜要項等」のコーナーに、入試の要項や募集する生徒像、選抜の方法について等が示されています。定期的に確認されることをお勧めします。毎年のように変更がありますが、特色選抜の定員割合や方法、専門学科を受験する際の「面接」の有無については、今のうちに確認しておくことよいと思います。

【受験生へのアドバイス】 <受験生に贈る受験半年前の必勝10か条>

- I 『早めの時間に数学、寝る前に暗記教科を心がけよ』
計算、理解力を必要とするものは午前中、暗記ものは寝る前が脳的にはベスト
- II 『一冊の問題集を徹底的にマスターせよ』 薄い問題集でも、完璧ならば効果は大きい
- III 『不得意教科は基本問題をたくさん』 教科書中心の復習に最大限の努力
- IV 『今からでも暗記は遅くない』 1日1時間の集中暗記は必勝
- V 『わかるまで人にきけ』 今日の未解決は明日にもちこすな、聞かぬは一生の恥
- VI 『受験生は特別扱いを受けるな』 手伝いは進んで行え、家族との対話も栄養剤
- VII 『生活のリズムを確立しよう』 早起きの習慣をくずさない 計画的な生活
- VIII 『過去の問題をガンガン解こう』 多くの問題を持っている人はつよい
- IX 『必勝の土台は心身の健康安定にあり』 受験は総合力（体力、気力も必要）
- X 『自分の学習ペースをくずさない』 やってないとあせるより、やっただけ力になると考えよう



【服装も人格の一部である】

『はきものをととのえる 服装をととのえる ことばをととのえる そうすれば、心もととのう』

「心は形をもとめ」ショーペンハウエルの言葉だったと思います。「スタイルは心の人相だ」とも言ったそうです。外見を軽くみてはいけません。「あの人と会うんだ」という心のありかたが、身だしなみにあらわれます。そしてその気持ちが服装にあらわれます。服装とは、相手を思いやる気持ちがあらわれるものと思う人もいます。一方、服装とは自己主張だという人もいます。目立つことであり、自分を表現する手段ととらえる人もいます。

しかし、教養とは、他人を意識することからはじまると思うのです。形は心をととのえる。外見からはいることも心をととのえることになるのです。形からはいっても、心からはいっても、それはどちらでもよいと思うのです。そう努力する時、その人は、すでに心をととのえていることにもなっているのですから。ただ、覚えておいてほしいことは、服装も人格の一部であるということです。服装により、あなたの人格を判断されるということを肝に銘じておいてください。

【自分の勉強法を見つけるために】～勉強するとは、何をどうすることか？～

なぜ、自分の勉強法が必要なのか。それは、みなさんが個性的な存在だからです。個性的であるということは、また、ひとりひとり様々な違いを持っているということです。だから、自分の実力に合わせた勉強の仕方をしてなければ、いくら頑張っても効果が上がらないのです。「勉強ができる」ということは、「知る」「記憶する」「思い出す」という3つのことがうまく結びついて、問題を見たときに、うまく答えが出てくる状態を意味します。

《『知る』ための2つの方法》

1 メモをとりながら『聞く』こと。

- ・授業中に、どれだけ先生の話を中心して聴いているかによって、聞いた内容の量に差が出てきます。もちろんたくさん聞いた方がいいに決まっています。

2 『読む』こと。

- ・勉強は、まず、教科書でも問題集でも、とにかく何かを「読む」ことから始まります。たくさん読む、繰り返し読む、いろいろな種類のものを読む、声を出して読むなど、いろいろあります。

《『記憶』するためには、内容をよく理解することが大切》

1 『図解』して覚えること。

- ・どんな仕組みになっているか、どんな関連があるのか、共通点はないのか、他と違う点は何かなど、疑問を持ちながらその内容と取り組むことがポイントです。

2 『繰り返し』ドリルをすること。

- ・国語、英語、社会は、読む・書くを徹底して行うことです。声を出して読むことも効果的です。数学・理科は、公式・法則などをよく読み、練習問題を数多く解くことによって、知識の定着を図ることです。

《『思い出す』ためには、記憶を強化しておくことが大切》

1 定期的に復習すること。

2 イメージを豊かにして、知識を関連づけて整理しておくこと。

上記のヒントを参考にして、自分はどんな勉強の仕方をしているか、点検してみましょう。今からでも遅くはありません。毎日の授業、毎日の家庭学習に強い意志を持って、自分から積極的に取り組んでいきましょう。